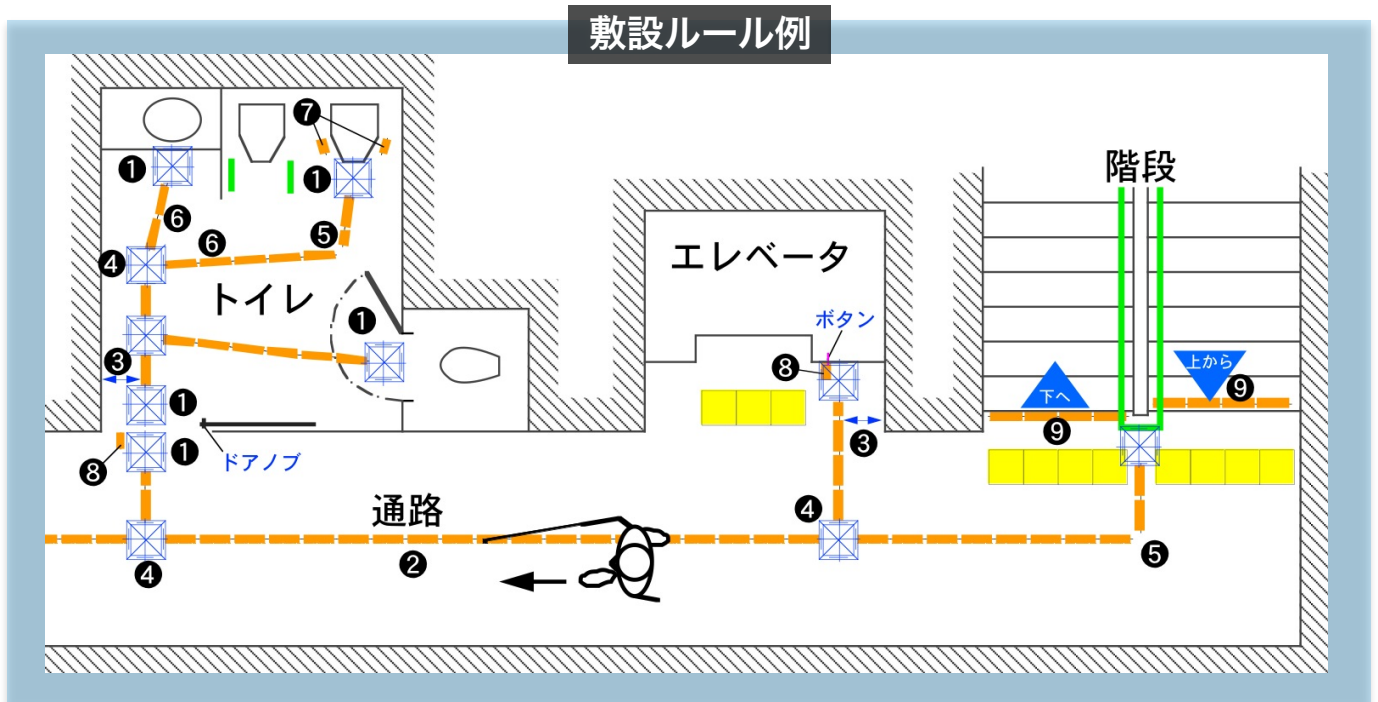


敷設ルールと施工

敷設ルールは：(図にある各番号で説明します。)

- ①目的地の中央へ向かい、30センチ前から、
- ②通路の中央か、
- ③壁から30センチ以上を通り、床の突起などを避け、30センチ毎に、すきまを開けて連続。
- ④分岐は、空白30センチ以内に。
- ⑤曲がり角は、すきま3ミリ以上で近接させるか、板を斜めに加工。
- ⑥斜め侵入もあり。
- ⑦足位置の目印に。
- ⑧ドアノブやエレベータボタンなどの、手掛かりの直下に目印。
- ⑨階段などの段差の、注意と、滑り止めに。



- 他：●便器や洗面は、手すりが無く、近いほうに。
●トイレ個室は、手前の1つに誘導。
●目的地が何なのかは、別の手段、例えば、同行の人が外から説明、「最初の分岐の右は個室、2番目の分岐の右は小便器、2番目の分岐をまっすぐ行くと洗面です。」。
●停止の目印には、横に並べるのも有効。
●壁の伝い歩きには、足元に目印。
●目的として滞在する場所を屋内、外出の経路にある駅などは屋外。

施設の図面を元にして、ルール例を参考にしても、**現場の動線に合わせて**ください。

施工は、

1. 事前の準備は、

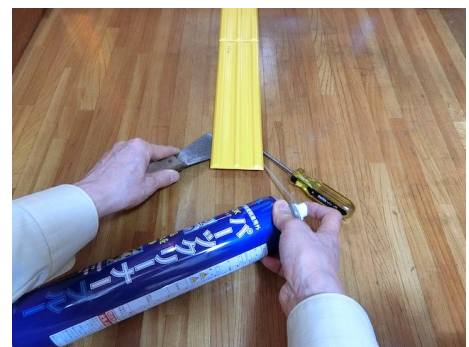
- 床に、突起物や固着物などが無い、ヘラなどを当てて確かめて、必要なら修正して、掃除しておきます。
 - 誘導板を並べて、長さなどが、敷設ルールに合うかを確認、必要なら、板を加工（下記）します。
- 注意；貼る前は、板の鋭い端にご注意ください。

2. 粘着つき板を貼る例は、

- 日光に当たらず、常には水につからないが、水拭きはする、平坦な床用（乾式のトイレ床を含む）。
 - 剥離紙をはがして、位置を合わせながら、置き直し、足で踏んで、密着させます。
- 注意；きれいに剥がせる特徴の粘着剤ですが、繊細な床材には注意してください。

2.1 はがす方法は、

- （ホームセンターなどにある）パーツクリーナ溶剤を、隙間に吹き入れて、粘着を柔らかくしながら、2本のヘラなどを交互に挿し入れて進み、徐々に、端から引き上げてください。
- 注意；溶剤を扱うときは、換気を良くして、火気を使わず、引火性に注意してください。使われている粘着剤は、熱風では柔らかくなくなりにくい性能ですし、パーツクリーナ溶剤で溶けることなく、周囲を汚しません。はがし剤は素材を痛めます。



3. 素板を貼る例は、

- 平坦でない床面や、環境に応じて、接着剤や両面テープで貼ります。
- 常には水につからないが、温度が上がる、日光が当たる場所などでは、仮止めがいらぬ粘着接着（両面に塗って、粘着が出てからはり合わせ）で貼ります。（例えば、セメダイン株式会社の「スーパーX」など）
- 常に水のかかる場所（水で流して掃除する湿式のトイレ床、玄関前など）では、日光が当たらなくても、屋外でも使える接着剤を選んでください。（例えば、セメダイン株式会社の「PM165-R」「車止め用」など）。十分に硬化するまで、重石で押さえてください。
- 両面テープで貼るなら、両脇が浮かないように、厚さ1ミリ以下の両面テープを選んでください。

4. 暫定的に貼る例は、

- 養生テープ（ようじょうテープ；きれいにはがせる片面粘着テープ）を貼った上に貼ります。
- 幅を合わせた、専用の養生テープがあります。PLTP1（きれいにはがせる弱粘着アクリル系PEクロス、手で切れます：幅75ミリ、長さ25メートル）、税込1,000円。



5. 加工法は、

- 長さや斜めの加工などは、中央で切断して、突き合わせます。ノコギリ、ヤスリ、グラインダー、カッター、プラスチックカッターなどが使えます。



(例) 斜め加工

開発と製造は、有限会社テイクス

244-0842 横浜市栄区飯島町1579-1

電話 045-890-6898 FAX 045-890-6899

palmsonar.com/PL PL2018p1.pdf - (2)